

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 株式会社 テン・アローズ
 コード番号 9885 URL <http://www.ten-arrows.com>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 林 勝哉
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部 部長 (氏名) 岩永 信幸
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 大

TEL 078-792-7414

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,973	—	691	—	702	—	711	—
20年3月期第1四半期	12,969	△3.1	575	10.0	639	1.1	293	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	36.72	—
20年3月期第1四半期	15.16	—

(注)平成19年11月30日付でギフト卸売事業を当社企業グループ外に譲渡したため、当四半期の売上高は前年同四半期と比較して減少しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	23,029	—	18,388	79.8	—	—	948.83	—
20年3月期	23,672	—	18,331	77.4	—	—	945.90	—

(参考)自己資本 21年3月期第1四半期 18,388百万円 20年3月期 18,331百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注)当社は定款において「毎年3月31日または9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者に対し金銭による剰余金の配当を行うことができる。」旨を定めておりますが、現在のところ年1回の期末配当を行うこととしております。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,100	—	950	—	1,020	—	910	—	46.95
通期	28,100	△39.4	1,900	△25.5	2,030	△27.7	2,600	—	134.16

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

①会計基準等の改正に伴う変更 有

②①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	21,034,950株	20年3月期	21,034,950株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	1,654,736株	20年3月期	1,654,615株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	19,380,289株	20年3月期第1四半期	19,380,560株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格・原材料価格の高騰や米国経済の減速、金融市場の急激な変動等により、企業の景況感が悪化するとともに、生活必需品の相次ぐ値上げにより個人消費にも翳りがみられるなど、景気の先行きには不透明感が増しております。

このような経済状況のもとで、当社企業グループは、レディースインナー等卸売事業を柱とし、業績の回復を最優先事項と位置付け、積極的な事業運営を進めてまいりました。

当第1四半期連結会計期間における当社企業グループの売上高は59億73百万円、営業利益は6億91百万円、経常利益は7億2百万円、四半期純利益7億11百万円となりました。なお、売上高の大幅な減少は、平成19年11月30日付で、ギフト卸売事業を営む株式会社BE（旧商号：株式会社エニシル）のギフト卸売事業を新設分割して、その新設会社の全株式を当社企業グループ外に譲渡したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間におけるレディースインナー等卸売事業の中核である子会社シャルレは、創業の精神である「お客様第一主義」のもと、お客様に満足いただける商品の提供を心がけるとともに、さらなる愛用者の拡大とシャルレブランドの強化を目的に、当社の強みである「着心地のよさ」と「着けたときの美しさ」を訴求した「さらに心地よく、もっときれいに。」を新たなブランドメッセージとして発信いたしました。

商品面においては、昨年発売しました「花シャルレ」シリーズの需要喚起を目的に、追加サイズやコーディネート商品を順次発売いたしました。品目別では、ナイティ・水着・アウター等については前期に比べ新商品の発売が減少したことによる売上高の減少と、また、ファンデーションをはじめとする定番商品については、売上の下降トレンドに歯止めをかけることができず、総じて低調に推移いたしました。一方、化粧品におきましては、美白美容液を発売し、新商品の投入効果などにより好調に推移いたしました。

以上の結果、レディースインナー等卸売事業の売上高は59億39百万円となりました。また、利益面では商品粗利率の改善などにより、営業利益7億32百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金の減少8億86百万円、有価証券の減少1億97百万円、商品の増加4億84百万円等により、前連結会計年度末に比べ6億42百万円減少して230億29百万円となりました。

負債は、未払金の減少6億29百万円等により、前連結会計年度末と比べ6億99百万円減少して46億40百万円となりました。純資産は、四半期純利益7億11百万円、利益配当5億81百万円等により、前連結会計年度末に比べ56百万円増加して183億88百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.4パーセントから79.8パーセントに増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、前期末に比べ3億16百万円増加し、61億85百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは、4億58百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額4億84百万円、未払金の減少額4億18百万円、法人税等の支払額4億60百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは、13億39百万円となりました。主な要因は、定期預金の減少額12億円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入2億30百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、5億43百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額5億43百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、レディースインナー等卸売事業におけるファンデーション等の定番商品の販売不振により、売上高は期初予想を下回りますが、利益面は粗利率の改善と販売費及び一般管理費の減少により、概ねの期初予想どおりに推移するものと見込んでおります。

通期の連結業績予想については、売上高は期初予想を下回るものの営業利益および経常利益は概ね計画どおりに推移するものと予想しております。また、平成20年10月1日付で予定している子会社のレディースインナー等卸売事業を当社が吸収分割し承継することによる税効果の影響で当期純利益は26億円を見込んでおります。

(第2四半期連結累計期間業績予想)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	960	1,020	910	46 95
今回修正予想(B)	13,100	950	1,020	910	46 95
増減額(B-A)	△900	△10	—	—	—
増減率(%)	△6.4	△1.0	—	—	—
前中間期実績	26,654	1,068	1,232	△2,247	△115 98

(通期連結業績予想)

平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,460	1,910	2,030	1,440	74 30
今回修正予想(B)	28,100	1,900	2,030	2,600	134 16
増減額(B-A)	△1,360	△10	—	1,160	—
増減率(%)	△4.6	△0.5	—	80.6	—
前期実績	46,363	2,548	2,809	△1,971	△101 74

当資料の記載内容のうち、将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測には、リスクや不確定な要素などが含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しと異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の定率法に基づく減価償却費については、当第1四半期会計期間を含む事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

②法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債算定にあたり、加味する加減算項目や税額控除項目を、重要なものに限定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額について収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,714	5,600
売掛金	37	42
有価証券	2,871	3,068
商品	4,768	4,281
繰延税金資産	1,383	1,583
その他	839	441
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	14,612	15,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,429	1,523
土地	907	1,009
その他（純額）	85	83
有形固定資産合計	2,422	2,616
無形固定資産	417	438
投資その他の資産		
投資有価証券	3,563	3,661
前払年金費用	1,187	1,172
その他	875	824
貸倒引当金	△49	△57
投資その他の資産合計	5,576	5,601
固定資産合計	8,416	8,655
資産合計	23,029	23,672
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,457	1,189
未払金	957	1,587
未払法人税等	127	404
事業整理損失引当金	2	47
賞与引当金	122	354
その他	644	459
流動負債合計	3,310	4,042
固定負債		
長期借入金	25	25
退職給付引当金	1,104	1,072
売上割戻引当金	200	199
固定負債合計	1,329	1,297
負債合計	4,640	5,340

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	11,513	11,383
自己株式	△1,198	△1,198
株主資本合計	18,812	18,682
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△441	△409
為替換算調整勘定	17	58
評価・換算差額等合計	△424	△350
純資産合計	18,388	18,331
負債純資産合計	23,029	23,672

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	5,973
売上原価	2,850
売上総利益	3,123
販売費及び一般管理費	2,432
営業利益	691
営業外収益	
受取利息	25
受取配当金	1
その他	5
営業外収益合計	31
営業外費用	
有価証券売却損	17
その他	3
営業外費用合計	20
経常利益	702
特別利益	
固定資産売却益	198
貸倒引当金戻入額	2
事業整理損失引当金戻入額	13
特別利益合計	214
特別損失	
固定資産除却損	1
特別損失合計	1
税金等調整前四半期純利益	915
法人税、住民税及び事業税	113
法人税等調整額	90
法人税等合計	204
四半期純利益	711

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	915
減価償却費及びその他の償却費	105
受取利息及び受取配当金	△26
有価証券売却損益 (△は益)	17
固定資産除却損	1
固定資産売却損益 (△は益)	△198
売上債権の増減額 (△は増加)	5
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△484
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△14
仕入債務の増減額 (△は減少)	267
未払金の増減額 (△は減少)	△418
前受金の増減額 (△は減少)	△8
預り金の増減額 (△は減少)	204
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△59
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	32
その他	△155
小計	183
利息及び配当金の受取額	27
法人税等の支払額	△460
事業再編による支出	△56
たな卸資産自主回収による支出	△151
営業活動によるキャッシュ・フロー	△458
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	1,200
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	230
有形固定資産の売却による収入	1
有形固定資産の取得による支出	△24
無形固定資産の取得による支出	△44
関係会社出資金の払込による支出	△20
その他	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,339
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△543
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△543
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	316
現金及び現金同等物の期首残高	5,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,185

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間において、レディースインナー等卸売事業の売上高および営業利益は、全セグメントの売上高の合計および営業利益の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高は連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～6月30日）

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	12,969
II 売上原価	8,469
売上総利益	4,499
III 販売費及び一般管理費	3,924
営業利益	575
IV 営業外収益	84
受取利息及び配当金	33
ギフト券未交換益	30
その他	19
V 営業外費用	20
支払利息	19
その他	1
経常利益	639
VI 特別損失	0
固定資産除却損	0
税金等調整前四半期純利益	638

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
税金費用	343
少数株主利益	0
四半期純利益	293

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	638
減価償却費	50
無形固定資産・長期前払費用償却費	106
受取利息及び配当金	△33
支払利息	19
固定資産除却損	0
売上債権の増減額(増加:△)	8
たな卸資産の増減額(増加:△)	76
仕入債務の増減額(減少:△)	516
未払金の増減額(減少:△)	△444
前受金の増減額(減少:△)	141
預り金の増減額(減少:△)	244
未払消費税等の増減額(減少:△)	△107
前払年金費用の増減額(増加:△)	△27
売上割戻引当金の増減額(減少:△)	△0
退職給付引当金の増減額(減少:△)	28
その他	△1,050
小計	166
利息及び配当金の受取額	39
利息の支払額	△18
法人税等の支払額	△1,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,145
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期性預金の増減額(増加:△)	△1,000
有価証券の売却・償還による収入	502
有価証券の取得による支出	△10
有形固定資産の取得による支出	△125
無形固定資産の取得による支出	△2
その他	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△641

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額 (減少: △)	300
長期借入金返済による支出	△38
配当金の支払額	△388
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	△1,914
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,130
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	8,215

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

	レディースイン ナー等卸売事業 (百万円)	ギフト 卸売事業 (百万円)	その他 の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対す る売上高	7,217	5,686	65	12,969	—	12,969
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	0	5	6	(6)	—
計	7,217	5,687	71	12,975	(6)	12,969
営業費用	6,651	5,577	154	12,384	9	12,394
営業利益	565	109	△83	591	(15)	575

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。